



報道関係者各位

文教大学国際学部の学生が JR 東日本より感謝状を受贈 JR 茅ヶ崎駅での外国人利用者に向けたサービス向上施策として、今後も取り組みを継続

2020年1月20日、文教大学湘南キャンパスにて、JR 東日本から文教大学国際学部学生に感謝状が贈呈されました。近年増加している外国人利用者へのサービス向上を目的とした、JR 茅ヶ崎駅と文教大学国際学部の共同プロジェクトにより行われてきた各種取り組みが評価されました。

【本件のポイント】

- 文教大学国際学部学生と JR 茅ヶ崎駅が約 2 年間にわたり実施した共同プロジェクトが評価され、2020年1月20日に JR 東日本からの感謝状の贈呈式が挙行された
- プロジェクト代表・副代表の学生が受贈の感想と今後の取り組みについてコメント

外国人利用者へのサービス向上を目的とした、文教大学国際学部学生と JR 茅ヶ崎駅の共同プロジェクトは、2017年に茅ヶ崎駅の担当者から駅の英語アナウンスの協力依頼を受けたことから始まりました。文教大学湘南キャンパスが茅ヶ崎駅からバスで約 25 分の場所に位置していることもあり、「毎日の通学に利用する身近な駅で、身近な企業と関われる絶好の機会」と、多くの学生が参加。英語アナウンスの放送開始以降も学生が様々な提案を行い、約 2 年間で以下の取り組みを実施しました。

- ① 駅構内英語アナウンス
- ② 駅構内に掲載する観光案内ポスターの作成
- ③ 駅員への英語指導（ロールプレイング形式）
- ④ 駅での中国語アナウンスの実施

これらの取り組みが評価され、2020年1月20日に JR 東日本から感謝状が贈呈されました。今後も活動を継続し、取り組みの範囲を周辺駅にも広げていく予定です。



学生が作成した外国人向けポスター



贈呈式の様子



贈呈式記念写真

贈呈式を終えて

プロジェクト代表

国際学部3年 鈴木美保さん

あっという間の2年間、計画性が培われた

スタートから2年と聞いた時、「もう2年たったのか」と思いました。英語アナウンスをはじめ、1つひとつの活動にじっくりと取り組んできたので、いつの間にか時間がたっていたという感じです。一番心に残っているのは、学生が外国人利用者役となり、茅ヶ崎駅の方に話しかけるロールプレイング形式での英語指導です。英語を実際に口に出してみると違和感があったり、駅員の方にうまくレクチャーできなかったり。でもそのおかげで、普通の授業でもより実践を意識して英語を学ぶようになりましたし、メンバー全員で知恵を出し合い、ロールプレイングの内容を改善していくこともできました。「文教大学プロジェクトチームの皆さんが実施したロールプレイングのおかげでスムーズに

対応できました」。駅員の方からそう言ってもらえた時は、頑張ったよかったと心から思いました。将来は教育関係の仕事に就こうと考えていますが、プロジェクトで培った計画する力や、考える力を生かしていきたいです。



「外国人の方が利用しやすい駅を作っていきたいです」

プロジェクト副代表

国際学部3年 矢島優樹さん

広がっていくプロジェクトの活動に充実感

1年生の時からプロジェクトに参加していますが、先輩方から引き継いだ活動の可能性がどんどん広がっていることに充実感を覚えます。個人的に印象に残っているのは、通学に利用しているJR相模線の車内で、僕が放送文のベースを提案した英語アナウンスが流れたことです。プロジェクトが実を結んだことを実感した瞬間でした。このプロジェクトのように、身近な企業とコラボレーションできて、かつ自分の学びの場としても活用できる機会はなかなかないと思います。できることは他にもまだまだあるので、新しいメンバーも募りながら、活動の幅を広げていきたいと考えています。



「プロジェクトの取り組みを紹介した、JR横浜支社でのプレゼン発表も好評でした」

文教大学学園

〔越谷キャンパス〕 埼玉県越谷市南荻島3337
教育学部 人間科学部 文学部
大学院 専攻科 外国人留学生別科

〔湘南キャンパス〕 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
情報学部 国際学部 健康栄養学部 経営学部
大学院

〔旗の台キャンパス〕 付属中学校・高等学校 付属幼稚園
〔石川台キャンパス〕 付属小学校

《発信》 学校法人 文教大学学園

経営企画局 経営企画課 広報担当 中島茜

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL/03-3783-7511 FAX/03-3783-6109
E-mail : koho-m@stf.bunkyo.ac.jp

BUNKYO UNIVERSITY